

それ天下に主たらんとことを願う者は、能く一方に主たり

「それ天下に主たらんとことを願う者は、能く一方に主たり」

毛利 元就

——目標は、大きく持とう——

天下を手に入れようとする者は、少なくともその一部を手に入れることができる。

戦国時代に中国地方の覇者となった毛利元就の言葉です。

最初から小さい目標しか立てていなければ、どんな頑張ってもその目標の達成さえおぼつかないことがある。

最初の目標が大きければ大きいほど、達成することができる事柄も大きくなる。

目標をあげるなら、大きいほうが良い。